

科目名	流通システム論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修 ■ 選択	
			学科	□ 必修 □ 選択	
英文表記	AN INTRODUCTION TO MODERN DISTRIBUTION MANAGEMENT	開講年次	□ 1 年 ■ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	あ べ と き お	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	阿 部 時 男	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	流通システムにおける情報システムの役割				
到達目標	流通システムの基本とグローバル企業環境の中でどうすれば流通の最適化を図ることができるかを理解する				
授業概要	現代の「流通システム」を理解する上で欠かせない経営環境の進化とそこから生じる課題、そして解決のための情報戦略について卸売業の実例を中心に学習する。また、理解を深めるために図やグラフの教材を出来るだけ多く用いて実践的な学習をする。				
授業計画					
第 1 回	流通システムとは				
第 2 回	流通システムとは（流通の機構 生産・消費と流通チャネル）				
第 3 回	流通システムとは（流通の機能、輸送機能、保管機能）				
第 4 回	流通システムとは（流通の機能、保管機能、情報機能）				
第 5 回	流通構造の変革、（経営環境の変化）（流通機能変化）				
第 6 回	流通構造の変革（パラダイムシフトと流通）				
第 7 回	流通構造の変革（流通機能の変化の予測）				
第 8 回	流通構造の変革（流通と情報革命）				
第 9 回	卸売業とビジネスモデル（卸売業の存立の基盤）（「流通ビジネスモデル」 宮下淳、中央経済社）				
第 10 回	卸売業のビジネスモデル （流通情報化）				
第 11 回	経営戦略同盟 カテゴリーマネジメント、ECR（Efficient Customer Response）、				
第 12 回	第 1 2 回 サプライチェーン・マネジメント（SCM）、P&G 社（プロクター・アンド・ギャンブル）				
第 13 回	花王化粧品販売の例、E D I ／ E C				
第 14 回	卸売業の戦略、加工食品卸売業の基本戦略				
第 15 回	日用雑貨卸売業の基本戦略、VMI、備蓄型物流の形態				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	普段、新聞やテレビ等で報道される日本のもの作りや流通をテーマとする記事や番組に慣れ親しむこと。				
履修条件 受講のルール	経営学関連科目、情報処理関連科目を履修しておくこと				
テキスト	OH プリント教材（配布）				
参考文献・資料	宮下淳、他著『流通ビジネスモデル』中央経済社、市原武政 他『1 からの流通論』碩学舎、田中一成著『図解・生産管理』（基本から S C M，E R P まで）、実教出版、				
成績評価の方法	授業態度、課題レポート、期末試験。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験				

	を受けることができません。
オフィスアワー	毎週水曜日午前中
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	自分の身近な生活環境で見かける商品の一つ選んでその生産から小売店までの流通を考えどのような経路を経てくるか来るかを考える。またその課程どのような問題を抱えているか考えてください。
学生へのメッセージ	実例についての図柄教材を取り入れ解りやすく講義を進めてゆく。授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。